

部活動などの活躍



レスキュー部がスタートしました！

今年度で6年目を迎えるレスキュー部。これまでの活動が広く認められ、27年度は消防庁の「第20回防災まちづくり大賞 防火・防災協会賞」などの大きな賞を受賞。昨年度は荒川区消防団の操作法大会に中学生としてはじめて参加し、消火活動の実演をするなど、中学校防災部の先駆けとして、また地域防災の担い手として、近隣地域を越えて全国的に注目されています。

その活躍の様子は、読売新聞社4月5日発行の「The Japan News」の一面に掲載され、南二中レスキュー部の名前が世界に発信されました。

その発足式が5月10日(水)に行われました。今年度の入部者は239名。全校生徒の約2/3にのぼり、南千住二中生の防災意識の高さが伺えます。部長には、〇〇〇〇くん(3-2)、副部長には、〇〇〇〇くん(3-1)、〇〇〇〇くん(3-3)、〇〇〇〇くん(3-4)、〇〇〇〇さん(3-4)、〇〇〇〇さん(3-4)の6人が決まり、これからの活躍が期待されます。



《主な活動内容》

絆ネットワーク 学校だよりや行事のお知らせなどを地域の高齢者宅へお届けし、絆を結んでいます。

地域の防災訓練に参加 消防署、荒川区や南千住地域の防災訓練に参加。

夏季防災訓練 昨年度は、学校が避難所になったことを想定して避難所開設訓練を行いました。

地域行事のお手伝い 地域のイベントにボランティアとして参加。

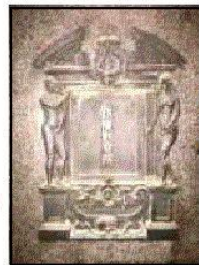
【お詫びと訂正】4月号の教職員の紹介に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、次の通り訂正いたします。(誤)飯島和宏先生→(正)飯島和弘先生

南千住マイスターのコーナー

玄白は晩年、回想録「蘭学事始」を著し、当時では長寿の85歳の人生を全うしました。

南千住の回向院には「親蔵記念碑」という石碑があります。この石碑は、江戸時代、オランダの医学書「ターヘルアナムトミア」を翻訳し、あの有名な「解体新書」を発行するために行われた「腑分け(人体解剖)」がこの場で行われたことを記念してつくられたものです。この解体新書を発行したのが「杉田玄白」です。玄白は、江戸牛込で享保18年(1733年)9月13日に生まれました。家は若狭国(わかさのくに)小浜藩(現在の福井県)の医師で、そのため青年期には医学修行を始めます。その後小浜藩の藩医となり、父が亡くなると、家督と待医の職を継ぎました。

南千住と歴史上の人物 その2 『解体新書(?) 杉田玄白』



小塚原回向院 親蔵記念碑



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成29年5月
第74号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

全国に誇る 「ゆいの森あらかわ」

校長 齊藤 進



「ゆいの森あらかわ」が3月にオープンしました。中央図書館と吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばが一体となった施設です。一步足を踏み入れた瞬間のワクワク感は名前の由来の通りまさに「人と人、本と人、地域と人、文化と人が結びつき、楽しみ・学び・安らげる豊かな森のような施設」そのものでした。とくに、40年来的吉村ファンの私にとって再現された書齋は私を魅了して止みません。思わず小説を書いてみたくなります。

「冬の鷹」「長英逃亡」「桜田門外の変」等では南千住の旧地名小塚原が舞台となり

、杉田玄白、前野良沢、吉田松陰、橋本左内など歴史上の人物の活躍が描かれています。私にとってはこうした吉村作品が南千住への興味関心につながり南千住検定の実現となったことも事実です。

書齋といえば、以前、八丈島を訪れた時のことです。新規採用教員時からお世話になった八丈町立三原中学校の青柳校長先生のご厚意により、「ぞうさん」などの童謡や合唱曲、交響曲、歌劇などの作曲で知られる團伊玖磨(だんいくま)氏の書齋を訪れる機会に恵まれました。八丈島を永住の地とした團氏ですが、氏が使用した椅子に座り、愛用した帽子を着用した時の例えようなない感動は今でも忘れることはありません。吉村昭記念文学館の書齋にたたくむと八丈での感動がよみがえってきます。

本校の地域学習で使用している「歩いて学ぼう南千住検定」(南二中発行)が展示されています。区民の皆様も一度手に取って頂ければ幸いです。

館には800の座席があり、どの階でもゆったりと読書に親しむことができます。こんなに素晴らしい施設は他に類を見ません。生徒の皆さん、保護者の皆様もぜひゆいの森あらかわで過ごす時間を楽しんでください。



離任式

4月28日(金)に離任式が行われました。この日は、昨年度まで南千住二中で長年にわたり授業や部活動、学校生活でお世話になった**松田 公好副校長先生**と**野田 智子先生**、**森下 麻紀先生**の3人をお招きして、感謝の気持ちを伝えました。

吹奏楽部の演奏にあわせて先生方が入場し、式が始まりました。校長先生からの紹介に続き、先生方よりお話をいただきました。松田副校長先生は、今年度から汐入小学校の校長先生に昇任されました。松田先生からは、「**口角を上げて笑顔になれば、大変なことも乗り越えられる**」というお話をいただき、笑顔のもつパワーを改めて感じさせられました。また、野田先生からは、「**南二中の生徒数が増えているということは、みんなでできることの可能性が広がる**」ということ、森下先生からは、「**自分の良い面を見て好きになってくれる友だちがいることを忘れないで**」という心に響くメッセージをいただきました。その後、代表生徒から感謝の言葉と花束が贈られました。松田先生には、〇〇〇〇くん(3-2)が**お礼の言葉**、〇〇〇〇さん(3-3)が**花束を**、野田先生には、〇〇〇〇さん(3-2)が**お礼の言葉**、〇〇〇〇さん(3-1)が**花束を**、森下先生には、〇〇〇〇さん(3-4)が**お礼の言葉**、〇〇〇〇くん(3-2)が**花束を贈りました**。最後に惜別の思いを込めて、全校生徒による校歌斉唱を行いました。南二の伝統のひとつである歌声はひととき大きく、アリーナを包み、3人の先生方からも胸を打たれたというお褒めの言葉をいただきました。退場は吹奏楽部によるミスチルの「足音」の演奏にのせて…。花道を歩む3人に向けて大きな拍手が送られ、先生方も生徒たちも別れを惜しみました。

松田先生、野田先生、森下先生、これまでありがとうございました。



松田先生

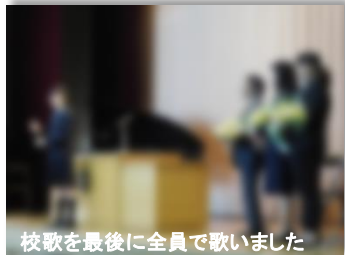
野田先生

森下先生

感謝の気持ちを

花束と手紙に託して

贈りました



校歌を最後に全員で歌いました

川の手荒川まつり

都立汐入公園とその周辺で、4月30日(日)に、「川の手荒川まつり」が行われました。今年で31回を迎えるこの催しでは、荒川や交流都市釜石市の特産品の販売やステージショー、パレードなどが行われ、GWに開催される恒例行事として、毎年多くの人で賑わいます。

そのパレードに、昨年に続き、南千住二中**吹奏楽部**が依頼を受けて参加。南千住ドナウ広場から汐入公園までを行進しました。華やかで活気ある演奏に、沿道の皆さんから歓声と大きな拍手があふれました。

吹奏楽部の皆さん、お疲れ様でした。



演奏とパフォーマンスでまつりを盛り上げました



1年生も参加

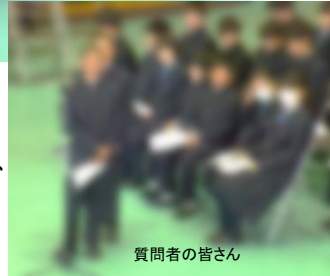
前期生徒総会

生徒会とはその名の通り、「生徒の会」であり、生徒が主役となって、よりよい学校生活をつくっていくための活動です。生徒総会は、この生徒会の活動方針や具体的な活動計画を決める大切な議決機関で、前期(5月)と後期(10月)の1年に2回、全生徒会員、つまり全校生徒が一堂に会して行われます。今年度の前期生徒総会は、5月8日(月)5校時に行われました。

総会は、生徒会本部役員 〇〇〇〇さん(2-2)の開会の言葉に続き、生徒会長 〇〇〇〇さん(3-3)の「**生徒一人一人が南二中をつくっているという自覚をもって生徒総会にのぞみましょう**」という呼び掛けで始まりました。つづいて生徒会役員 〇〇〇〇くん(2-1)が生徒総会の議事の進め方を全校生徒に説明しました。



左: 議長団と生徒会本部役員、右: 中央委員会、専門委員会委員長の皆さん



質問者の皆さん

右: 質問に答える学級委員会委員長
下: 質問するクラス代表



議事の進行は、中央委員会から推薦を受けた議長団により行われました。議長は 〇〇〇〇さん(3-3)、副議長は 〇〇〇〇くん(3-4)、〇〇〇〇さん(2-1)、書記を 〇〇〇〇さん(3-2)、〇〇〇〇さん(3-4)、〇〇〇〇くん(2-3)、〇〇〇〇さん(1-3)が務めました。

議事は、生徒会本部、学級委員会、図書委員会、環境委員会、健康委員会、JRC委員会、放送委員会の順に活動方針や活動計画が発表され、それに対して事前にクラス討議を経た質問、修正意見、賛成意見などが各クラスの代表から出されました。活発な討議の後、採決され、ほぼ全会一致で生徒会本部、各委員会の活動方針・活動計画などが承認されました。

議事が終了した後は、各学年の学年委員長(1年生3組 〇〇〇〇くん、2年生4組 〇〇〇〇くん、3年生2組 〇〇〇〇さん)が学年目標を、さらに各クラスの学級委員から学級目標が発表されました。最後に、生徒会役員 〇〇〇〇くん(2-1)の「**一人ひとりが南二中生としての自覚を大切に、積極的に活動に取り組み、より良い南二中をつくっていきましょう**」という言葉で閉会しました。生徒会スローガン『**ひらこう心の扉 磨こう知性と個性**』や学年・学級目標のもと、各委員会、そして生徒会員の一人ひとりが活発に活動することを確認できた生徒総会でした。

2年生 オーケストラ鑑賞教室

5月1日(月)、荒川区立中学校オーケストラ鑑賞教室が上野の東京文化会館で行われ、南千住二中からは2年生が参加しました。

この日は**東京都交響楽団**によるオーケストラ演奏が行われ、歌劇「カルメン」前奏曲からはじまり、楽器の紹介とアンサンブル演奏をはさみ、ベートーヴェンの代表作「運命」、ブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」などメロディや速度が変化するクラシックや映画の名曲6演目が披露されました。

「スター・ウォーズ」のテーマ曲がとび出したときは、ファンファーレの迫力に誰もが圧倒され、思わず身を乗り出して聴き入りました。本格的なコンサートホールもオーケストラ生演奏も、生徒たちにとってはおそらく初めての体験。音楽のもつ力に触れ、感銘を受けるたいへん貴重な機会となりました。

